

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
DTX+Darolutamide+ADT	21日間	軽度催吐性リスク

ADT(アンドロゲン除去療法)については各薬剤の用法・用量に従うため記載していません。

		薬剤	用量	用法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
		ダロルタミド	1200mg/日	2×朝・夕食後	▶																				
滴下順	薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	デキサメタゾン 生理食塩液	6.6mg 100mL	メイン	30分	●																				
2	ドセタキセル 生理食塩液	75mg/m ² 250mL	メイン	2時間	●																				
3	生理食塩液	50mL	メイン	15分	●																				

ドセタキセル6コース終了後はダロルタミド、ADTは継続。

臨床試験では1コース目のドセタキセルは、ADT投与12週間以内かつダロルタミド開始6週間以内に開始。

主治医判断でプレドニゾロン併用が可能であるためレジメンには記載していない。